

自動サービス機におけるキャッシュレス普及促進

背景

- 駅ナカにある自動販売機では、キャッシュレスの受容が進みつつあるものの、街ナカでは十分でない
- 消費者の硬貨保有の意識付けにつながっている可能性もある
- 自動販売機等における現金管理コストが事業者の負担となっている

目的

- 自動サービス機のキャッシュレス導入に伴う、メリット/デメリットを明確化する
- キャッシュレス導入に伴う障壁（費用、制度、機能提供者等）を明確化し、具体的な対応策を検討する

実施事項

- 自動サービス機におけるキャッシュレス導入状況の明確化
- 現金管理コストの明確化と、キャッシュレス移行時の負担軽減の試算（実証実験の実施も検討）
- 導入における障壁の明確化
- 今後の検討の必要性、進め方の検討

想定成果物

- 現状の自動サービス機における支払状況等に関する事実資料（キャッシュレス導入状況、現金管理コスト等）
- キャッシュレス導入時の支払状況等に関する試算資料
- 現状の障壁と対応の方向性（次年度）

想定スケジュール

